

タイトル	「私は世界を変えます。Wewe Je (あなたは) ?」 ～タンザニア文化の理解と国際貢献～		
氏名	井上 陽平		
学校名	滋賀県 甲賀市立甲南中学校		
担当教科	社会		
実践教科	道徳・学活	時間数	3時間
対象生徒 学年	2年2組	対象人数	39名(男子18・女子20)

カリキュラム案

(1) 実践的目的

- ・タンザニアの生活文化を学ぶことを通してアフリカに対するプラスのイメージを得る
- ・タンザニアの課題に対する支援を考える中で、自分にもできるという意識を持たせる
- ・世界の抱える問題に対して解決可能であり、自分も貢献したいという意欲を持たせる

(2) 授業の構成案

時限・テーマ・ねらい	方法・内容	使用教材
【例】1限目 テーマ:メキシコを知る ねらい:導入のためメキシコを知り興味を持たせること。	(1) 白地図でメキシコ位置をあてさせる (2) フォトランゲージでメキシコの人々の生活を議論しあう。	(1) 白地図 (2) メキシコで収集した写真、新聞、雑誌、通貨等
1時限目 テーマ: 旅行後の自身の変化 ねらい:貧困から希望にイメージを変える	(1) 写真「ハゲワシと少女」を例にタンザニアに行く前の心境(貧困・不安)を話す (2) ビデオを見せたあと、タンザニアに行ってからの印象の変化を今の心境(希望・豊かさ)を話す (3) 一学期に行っていた掲示物がタンザニアに届いたことを紹介する	(1) 写真『ハゲワシと少女』 (2) ビデオ(参加者作成) (3) 現物(ほうき、マコンデ彫刻、ティンガティンガアートなど) (4) 写真(制作物が孤児院に届いたものの)
2時限目 テーマ: タンザニアの文化 ねらい:タンザニアの文化を尊重する態度を育てる	(1) タンザニア各地で撮影した写真を見て話し合う (2) ウガリ・スープ・チップスマヤイ・コーヒーの「タンザニア定食」を食べる (3) カンガを紹介し、そこに書かれている文章の中から気に入ったものを選び、その理由を発表しあう	(1) 写真(携帯、畑、車など) (2) 料理(ウガリ・チップスマヤイ・アフリカフェ) (3) カンガ(現物) (4) カンガの文章集(自作)

時限・テーマ・ねらい	方法・内容	使用教材
3時限目 テーマ:タンザニアへの支援 ねらい:当事者として支援を考える	(1) 日本が行っているさまざまな分野の支援を知る (2) ナリエンデーレ小学校の課題を挙げ、その優先順位を考える (3) 課題の中で自分が貢献できる方法を考える	(1) 写真(信号・JOCV・ナリエンデーレ小学校の様子) (2) ゲストティーチャー(青年海外協力隊体験者)

授業実践の詳細 (太字部分が4枚目の写真使用箇所)

第1時

学習活動	資料・準備物
①導入 『ハゲワシと少女』を使って フォトランゲージ (反応)・こわい・この子食べられたの? ・何が起こっているのかわからない 自分がタンザニア(アフリカ)に行く前に持っていたイメージ(飢餓・貧困・内戦)・・・怖かったことを話す	○『ハゲワシと少女』
②展開 (1) ビデオを見て印象を発表する (反応)・子どもたちが元気・全然予想とちがう ・ダンスがかっこいい・イメージが変わった	○ビデオ
③展開 (2) 自分が見てきた印象を話す ①貧しくない・暗くない ・人なつっこい人が多かった ・飢え死にする人がいなかった・・統計上もない ②問題がなかったのか、というとそうではない ・マラリア、HIVで親が亡くなる場合が多い ・教室にいる子どもたちにはほとんど教材がない ③でも希望はある ・孤児院は村人がお金を出し合っている ・ともに日本人が支援をしている ④印象に残ったことは「飢餓は人災です」 ・自然災害で起こるのは仕方がない →でもそれをカバーすればいいだけのこと 人災ならば人間の進歩でカバーできる ④展開 (3) 自分が今考えていることを伝える ・世界の問題は解決可能で、それに向けてがんばっている人も多数いる。若い頃は「世界平和」なんて夢だと思っていたが、それは単に情報が少なかっただけなんじゃないかと思う	○写真 ・孤児院の子 ・学校の様子 ○フラッシュカード 「飢餓は人災です」
⑤展開 (4) 生徒がやってきた「国際貢献」 ・生徒が一学期に書いた寄せ書きが孤児院に届いたことを→ すでにみなさんはひとつ「国際貢献」をした (反応)・おーっ!・何書いたかな?・俺のどこや?	○写真 ・生徒制作物贈呈の様子

学習活動	資料・準備物
⑥まとめ 次時からの日程説明 本時の感想	

第2時

学習活動	資料・準備物
①導入 本時の説明	
②展開 (1) 経済統計からタンザニアを見る → 1日1ドル以下…「最貧国」のひとつ	
③展開 (2) タンザニア素描 写真を提示 → 気がついたことを発表する ・携帯で話す人 ・衛星放送のパラボラ ・市場の活気 ・村にある畑 ・都市の活況 → 物質文明の浸透、 自給経済の存在などを印象づける	○写真 ・携帯 市場 ・農地 など
④展開 (3) 「タンザニア定食」を食べてみる 食堂の食事の写真の提示 → こんな感じで食堂に出る「タンザニア定食」を食べてみよう → ウガリ スープ(カレー) チップスマヤイ ・アフリカフェまたはアフリカンプライドティー (反応) ウガリはあんまりやけど、マヤイはうまい ・米みたいな味や・家でも作るわ	○現物 ・ウガリ ・チップスマヤイ コーヒー 紅茶
⑤展開 (2) カンガの言葉を通して文化を知る 写真を提示 → カンガの説明(利用法) 言葉がかかっている → タンザニアの心を知ろう気に入った言葉を選び、そこから予想するタンザニアの人々のイメージを発表する (反応) これ、日本で言うと…わかるわかる ・どれもいいやん。悩むわ	○現物 カンガ ○ワークシート カンガ名言集
⑥まとめ 本時の感想と次時の予告	

第3時

学習活動	資料・準備物
①導入 写真を提示・クイズ 「タンザニアの中の『日本』を見つけてみよう」	○写真 ・バス 日本製の服
②展開 (1) 日本の国際貢献を理解する 写真を提示… 「信号」「欄干」「井戸」「先生」 → 日本はタンザニアに様々な支援を行っている ODA: 国の支援 NGO: 民間の支援	○写真 ・日本の信号機 ・井戸ポンプ など ○ワークシート ○写真 ・ナリエンデーレ小学校の様子
③展開 (2) 国際貢献の現場をシミュレーションする 写真の提示…ナリエンデーレ小学校の様子見学 → 生徒は	

学習活動	資料・準備物
楽しく勉強をしているが、よく見たら問題が見えてくる。学校の抱える問題をあげていく。	
(1) 教室が足りない。 1クラスに生徒が80~100人もいる。	
(2) 学用品がない。ノートもペンも持たない生徒が多い。	
(3) 教具が足りない。教科書1冊、チョークと黒板だけ。	
(4) 勉強しようとする意欲が足りない。勉強ができたところで仕事がないのが現実。	
(5) 貧しい生徒が多い。昼食抜きで勉強する生徒もいる。	
(6) 先生の教え方がヘタ。専門的な教育を受けていないので考え方を知らない。	
ダイアモンドランキング形式で優先順位をあげる 発表・意見交換・討論・教員による進行 (反応) えーっ! それ、私一番最後やわ	
・本当の国力をつけるためにはこれが一番・反論! 反論! それやったら…	
④展開 (3) 国際貢献に必要な姿勢 ・継続性(長く続けられる) ・自立(住民たちができるようになる) ・必要性(住民たちが必要としているもの) → 常に変動する。だから住民とも支援のパートナーとも話し合い続ける必要がある	
⑤展開 (4) 自分が思いつく国際貢献 生徒の思いついた貢献方法を発表 (反応) 先生になって教え方を教える ・募金する ・自作の地図とかを作って送る ・料理をいっしょに作る ・農業でタネをまく ・会社作ってタンザニアに支社をつくる → それぞれの分野で支援が可能…誰もが参加可能	

学習活動	資料・準備物
⑥まとめ ゲストティーチャー (青年海外協力隊出身者)の話 ・自分が協力隊に応募しようと思ったきっかけ ・赴任地での体験… 自分も貢献できたという喜び ・自分が教えられたこと…一方通行ではない関係	

使用教材

1時限目 タンザニア訪問の印象を概略として話す



かわいい!でもこの子たちには親がない みんなのメッセージを届けました!



2時限目 タンザニア(アフリカ)のイメージを覆していく



ケータイの普及率はかなり高い



市場には豊富な食料がある

3時限目 タンザニアと日本のつながりの支援を中心に紹介



プリキュアのシャツ



蛇口の間に見える日章旗

カンガ名言集 (生徒に人気があったもの)

• NAISHI NIZEZAVYO SIISHI
MTAKAVYO
(あなたの人生はあなたのもの。
あなたの意志で生きなさい)

• TUPENDANE KWELI KWELI
WABAYA WAULIZANE
(仲良くしようね。みんなが嫉妬
するくらい)

• JAPO SIPATI TAMAA
SIKATI
(叶わないかもしれないけれど、
私は望みを捨てません)

• KUINAMAKO NDIKO
KUINUKAKO
(かがみこむ場所こそ立ち上
る場所)

• MSO HILI ANA LILE
(「これ」を持っていない人は
「あれ」を持っている)

• FURAHA NA MSIBA NDIO
DUNIA
(いいこと悪いこと、いろいろある
のが世の中)

●参考資料
参加者購入のカンガ、HP「アフリ
カフェ@バラカ」
HP「スワヒリ語教室」など

【生徒の感想】

- ・自分のまったく知らなかったことをたくさん教えてもらった時間だった。今までではタンザニアなんか国名くらいしか知らんかった。その程度のものがたった3時間の授業で大きく変わった。世界にはいろんな国が、それぞれの問題を抱えている。大事なのはそれを知って、解決するために努力することなんじゃないかって思う。
- ・先生はタンザニアは想像していたより良かったと最初の授業で言ったけど、やっぱり貧困問題があるんだなと思いました。お金はまず食べ物に使って、子どもたちをおなかいっぱいにしてあげてほしいです。うちも現実を見に行きたい。自分で確かめたい。先生がうらやましいです。
- ・援助の仕方とか、今までわからないからやらないと考えていましたが、「知らないからやらない、できない」という概念を捨てて、自分から問題に立ち向かっていくことが大切なんだなあと感じました。これからは自分で調べて、問題に向かいあっていきたいです。
- ・大人になったら外国に行きたいとは思っていたけど、どうせ行くのなら観光だけでなく、もっとためになることをしたいと思いました。今回の授業でいろんなことに興味を持った。
- ・援助と聞くとすごくお金や時間がかかりたり、必要になるイメージでした。でも私でも助けることができるということが分りました。これから私に出来ることを少しでもやっていきたいと思います。
- ・現地に行かないでわからないことがあって、いろんな意見があって…私はすごく援助のことを知りたいと思いました。大人になったらたくさんの国に行って、役に立てることをしたいです
- ・ビデオや先生の話を聞いて、世界平和が可能だと思いました。僕たちが書いた紙がタンザニアに届いていたことにびっくりしました。すごくうれしかったです。僕もタンザニアやケニアに行ってみたいなあーとか思いました。
- ・今「国境なき医師団」やボランティアで途上国を救う活動をしている人が増えてきているけど、今以上にもっと増えて欲しいなあ。私もただ他人事のように見ているだけではなく、実際にそうした活動をしてみたいなあと思いました。
- ・3回タンザニアの勉強をして、タンザニアの良いところも問題も見えました。これから先、タンザニアの良いところを広めて、問題も含めて解決していくような人になりたいです。

授業実践を通しての所感・反省点・今後の改善策

自分たちで地図とかを作って、教える道具にして送る

大人が働きにいけるための託児所を作って保育を手伝う

「勉強は楽しいもの」と教えてあげる

教師になって、現地の人たちに教え方を教える

使っていないノートやえんぴつなどを集めて送る

大工になって現地の人といっしょに教室を作る

会社を作ってタンザニアに支社を作り、タンザニアの人が働けるように仕事を増やす

料理が好きなので現地で取れるもので料理を考え、作り方を教えながら一緒に作る

芸術的な仕事について音楽や文化を紹介し、子ども達に夢を持たせる

農業をやってタンザニアでタネを蒔く

現地の作物を増やす技術を伝える

えらくなって、いっぱい稼いで、寄付する